

つくる フォーラム

事業概要および「ピーエス(株)こんなものが室内に欲しかった協働製作者募集」応募要領

12月5日(土)京博・公開打ち合わせ申込開始：平成27年11月20日(金)～11月30日(月)

書類審査 募集期間：平成27年11月20日(金)～12月25日(金)

書類審査 選考通過者へのご連絡：1月15日(金)までに行います

※本応募要綱の最終ページにある応募書類2枚にご記入のうえ、過去制作された作品がわかる資料と共にご郵送ください。(頂いた書類は返送いたしません。ご了承ください)

書類送付先：一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン「つくる・ピーエス係」

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壹番館ビル3階 tel.03-3573-3339

事業概要

1. つくるフォーラムとは？(事業の趣旨)

「使う目的を明らかに」した様々な「つくる」公募を行うことで、ものづくりの活性化を促す、21世紀的つくり手支援のかたちです。

いままで水面下で行われてきた「お誂え」を、公募し「公開お誂え＝現代の御用達をつくるコンペティション」とし、社会が開かれたものづくりを行っていくことを推進するプロジェクトです。

良きつくり手に、「実際に使う場がイメージできる」ものづくりの場、そして、よき使い手とよき繋ぎ手と協働し、対話しながらものづくりを行う場を提供します。

お誂えをしたい使い手にとっては、発注したくてもこちらの条件を満たしつつ想像力溢れる名品を生むつくり手に出会う機会は、限られています。つくり手にとっても、条件はあるものの単なるOEMではなく、自由な発想を汲み取ってくれ、創造を共に楽しむ発注者に出会う機会は、限られています。

つくるフォーラムでは、発注者がはっきりしている、販売先が確保されているというアドバンテージがあります。これまでの公的な支援体制では、作ってしまってから見本市に出して買い手を探すシステムが多く、せっかく良品を生み出しても販売に直結しにくいことが難点でした。つくるフォーラムではその弱点を乗り越え、つくり手には販売の心配が不要の良質な案件だけを扱います。現代の御用達となるクリエイターを公開募集するプロジェクトです。

2. 京博における「つくるフォーラム」説明会について

各公募案件の趣旨・希望する内容の説明会を2015年12月5日(土)※休館日
京都国立博物館・平成知新館 講堂&グランドロビー にて行います。

募集者が何をイメージし、どんな創作を求めているか。募集者となる企業各社から、直接説明申し上げ、募集を呼びかけます。この日は休館日のため入館には事前申請が必要です。WEBでの参加申し込みをしてください。なお、この説明会に参加されなくても、書類送付だけでも応募できます。応募書類の募集締め切りは12月25日です。

12月5日(土)京都国立博物館における つくるフォーラム公募説明会 について

11時～12時 講堂にて、募集者となる企業が趣旨と概要説明を行います。休館日のため入館には事前申請が必要です。WEBでの申し込みをしてください。応募の意思のない一般観覧者のご参加も大歓迎です。

13時～14時 グランドロビーに設置された各案件ブースにて質疑応答。15分入れ替え制。

14時～16時 各ブースにて、事前に応募書類をいただいた方のうち、希望者には個別打合せを行います。ポートフォリオをご持参いただき、御一人御一人ごとに打合せ時間を組むことができます。

3. 応募できる人と 審査費用

審査費用は無料です。案件ごとに設置された目的により地域や年齢などの諸条件はありますが、良い作品を広く募集するのが目的ですので、作家、職人、工房、メーカー、プロダクトデザイナー、コーディネーター、スタイリスト、バイヤー、問屋さんなどものづくりにかかわる人ならだれでも応募できます。

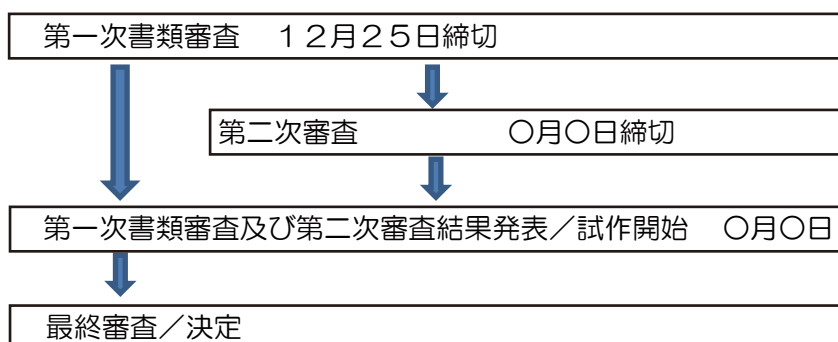
募集者の希望する品物の意図を汲み取り、それに合致するものを応募してください。募集者と募集者の定める審査員により、審査され採用されます。「職人+プロダクトデザイナーチーム」「メーカー+コーディネーターチーム」などチームを組んでのご応募も期待します。

4. 採用の方針

募集者の意向によって、審査され採用が決定します。品物の募集要件をよく読んで、募集者が望んでいる品物を理解し、適切にご応募ください。

第一次審査の審査団は各案件毎、10名の工芸有識者(非公開)が参加します。

5. 審査の流れ



6. 応募者の提出物等

第一次書類審査 2015年12月25日締切

<提出するもの 応募フォームのみ>

- ・応募フォームには、
 - a. 氏名
 - b. 連絡先（住所、電話、Fax、メールアドレス）
 - c. これまでの代表作の写真をフォームの貼り付け欄に貼付ください。
 - d. 応募する製品のエスキスあるいは応募したい実物がある場合にはその写真も貼り付け欄に貼付ください。
 - e. 応募した製品の概要。コンセプト、仕組み etc. について記載ください。
 - f. 制作指導及び納品の納期まで監督できる第三者の推薦文があれば、記載ください。

第二次審査（書類審査通過者が受ける審査）

<提出するもの 詳細エスキスと参考作品>

- ・書類審査通過者に、求められるスペックなどをお伝えしますので詳細なエスキスをお送り頂きます。
- ・ご提出いただくエスキスの参考になる作品があればお送りください。
- ・応募費用、出品料は無料です。
- ・参考作品の送料は、応募者各自でご負担ください。
- ・輸送、審査中の破損については、責任を負いかねますので予めご了承のうえご応募ください。
- ・事前に事務局あてに送付内容をお知らせください。
- ・審査終了後、返送する費用は主催者で負担いたします。

試作

- ・書類審査、第二次審査の結果を皆さんへ通知します。
- ・通過者には、試作をしてもらう場合があります。
- ・試作をしても万が一採用されなかった場合、試作品コスト（請求による。上限2万円。競争率により減額の可能性があります。）が支払われる予定です。

最終審査

- ・採用数は一人～複数、案件ごとに異なります。

7. 注意事項

- ・活動歴が少ない方には、制作指導及び納品の納期まで監督できる第三者の推薦文があると採用可能性が高まります。
- ・応募された書類はお返ししません。
- ・応募は無料です。

8. 採用作品について

次年度の東京における「21世紀鷹峯フォーラム」時期に行われる「つくるフォーラム」説明会（東京/京都・二会場開催予定）において、どのようなプロセスでのものづくりであったか、紹介展示されます。

次年度は、東京で行われる「21世紀鷹峯フォーラム」。その年には東京、京都の二会場で説明会を行います。次次年度は金沢。その年には金沢、東京、京都の三会場で説明会を実施します。その都度、過去のつくるフォーラムでどのような事例があったかが、紹介されます。

9. 実際の納品+販売について

本プロジェクトでは、公募の要となり、制作指導から納品までを監督する「繋ぎ手」も重視しています。

審査の段階では費用は無料ですが、めでたくご自身の製品及びアイデアが審査を通過し選出された場合には、募集者への納品、販売に際して、各個販売価格の30%をCOJへ納付願います。繋ぎ手への謝礼および募集に携るCOJの運営費等に充当いたします。

10. 審査結果発表

審査日程は案件ごとに異なります。各案件の募集要領をご確認ください。

なお、第一次審査時は採用者にのみ期限内に連絡、書類返送はいたしません。第二次審査以降は、採用不採用のご連絡をいたします。第二次審査の作品送付先・期限につきましても案件ごとになりますので、必ずご確認ください。

11. 総合監修プロデューサー



東京都美術館「TOKYO CRAFTS & DESIGN」（プロジェクトが2013年グッドデザイン賞を受賞）を推進された川越仁恵氏が本プロジェクトの総合監修を担当されます。

日本経済大学経営学部専任講師。専門は工芸技術史、在来産業論。研究成果を社会に役立つプロジェクトとして変換、各地で職人の相談にのり共に解決を目指している。東京の伝統工芸職人×デザイナーのコラボレーションによって新作工芸品を生み出すプロジェクト TOKYO CRAFTS&DESIGN を企画し、2013年度グッドデザイン賞を受賞。

2012年ものづくりフォーラム（経済産業省主催）ジェネラルコーディネーター

日本金銀創作展（東京銀器組合主催）審査員 / 東京の伝統的工芸品チャレンジ大賞（東京都中小企業振興公社主催）審査員 / 新潟市漆器同業組合（国指定伝統的工芸品「新潟漆器」）アドバイザー / 与板打刃物匠会（国指定伝統的工芸品「越後与板打刃物」）クリエイティブ・プロデューサー

1. 募集内容について

「こんなものが室内に欲しかった。」協働製作者募集

ピーエスは1970年代からスイスの技術導入をし、暖房用ラジエータを日本で製造してきました。1990年代にはモンスーン日本の大きな夏の冷房ニーズを受けて立ち、世界で初めて「夏のラジエータ」を開発、住宅からオフィス、学校などの公共施設まで好評を博しています。

次のステージを狙っています。

日本の気候風土にさらに踏み込んだラジエータを作りたいと思っています。このデザインプロセスに参加していただけるアーティスト、デザイナー、職人を募集します。

ラジエータとは＝

放射と自然対流の力で、暖房もしくは冷暖房を行う機器のこと。熱源は、電気、ヒートポンプ、井戸水など様々。

募集内容＝A **グラフィックを遊ぶラジエータ**

募集内容＝B **歴史と響くラジエータ**：日本の文化が培ってきた空間に気づかないくらい溶け込むラジエーター

募集内容＝C **衣替える^{はるなつあきふゆ}春夏秋冬ラジエータ**

2. 募集内容毎に協働をイメージする方

A＝プロダクトデザイナー・彫刻家・画家・学生 etc.

B＝建築家・工芸家・職人・プロダクトデザイナー・学生 etc.

C＝染織工芸家・テキスタイルデザイナー・学生 etc.

3. 12月5日(土)公募説明会について

公募説明会において、より具体的なイメージをお知らせします。公募説明会に参加される場合は、当日は休館日ですので、事前の参加申し込みを必ずお願いいたします。

京都国立博物館・平成知新館にて、12月5日(土)

11時～12時 講堂にて、募集者が趣旨と概要説明を行います(対象：WEBで参加申込みのあった方)

13時～14時 グランドロビー各ブースにて 15分刻み・グループで質疑応答(対象：〃)

14時～16時 各ブースにて、個別打合せを行います。(対象：**事前に応募書類をいただいた方のみ**)

なお、当日は京博特別講座「愛しむ工藝・詠えの歴史」と題した講演会が13時半～15時開催されています。そちらは別のお申し込みが必要になりますのでご注意ください。

企業理念

日本には豊かな自然があります。ピーエス (PS) は日本各地の気候風土にあった快適を探索し続けている企業です。私たちの夢は、『自然+PS』の理念のもと、ユーザーと共に快適をつくること。そのための要素として、ラジエータ (除湿型放射冷暖房、放射暖房など) や、産業用加湿器などを開発しています。

「こんなものが欲しかった。」と言っていただけの提案をし続ける開発型企業ピーエスが大切にしてきたことは、使い手の目線でつくりながら考えること。常にオーダーメイドの発想であらゆる現場の快適を探索してきました。

1992年に竣工したPS IDICも探索のひとつです。除湿型放射冷暖房の開発を期に、岩手県八幡平市鬼清水の気候風土のなかで働く快適さを探索した工場兼ショールームをつくりました。その16年後にあたる2008年、JIA環境建築賞「最優秀賞」を頂きました。また近年、CASBEE (建築物総合環境性能評価システム) では最高Sランクであることが示され、環境問題への関心が高まるずっと以前からサステナブルな空間が実現していたことが証明されました。

このような弊社の歴史は、1960年創業、産業用加湿器の開発に始まりました。当時、周囲からよく言われた言葉は「高温多湿な日本で、なぜ加湿器を？」でしたが、高度経済成長期に繊維や印刷、食品等の工場で、静電気トラブルなどが起きていたところに、湿度の必要性を訴え掛けたのです。現在では、湿度の価値が認知されるようになり、精密機器の工場、病院や福祉施設、美術館など様々な商業分野でピーエスの加湿器が活躍しています。*加湿器、放射冷暖房

導入先一部 下部参照。

1970年より製造を開始した暖房用ラジエータは、その省エネ性が注目され1972年の札幌冬季オリンピックで運営本部から選手村にまでご採用いただきました。1992年には世界に先駆け、「除湿型」の「冷」暖房用ラジエータを開発しリリースしました。長く厳しい夏がある日本の気候風土のためのものです。これらのラジエータは、吹き抜け空間や、歴史的建造物のリノベーション、図書館、美術館、音楽ホールなどで愛されています。

このようにピーエスは、湿度と温度の専門企業として、自然豊かな日本の快適を探索し続けています。

*加湿器、放射冷暖房 導入先一部

安曇野ひろ美術館	最上義光歴史館	輪島漆芸美術館	小松市立宮本三郎美術館
ちひろ美術館・東京	坂の上の雲ミュージアム	武蔵野市立吉祥寺美術館	小松市立本陣記念美術館
出光美術館 (東京・丸の内)	北海道立三好太郎美術館	熊本県立美術館	札幌市博物館活動センター
出光美術館 (門司)	三深記念館	愛宕町立歴史文化博物館	仙台市博物館
信州小布施 北斎館	山種美術館	みやざき歴史文化館	秋田市立千秋美術館
M I H O MUSEUM	車屋美術館	愛媛県歴史文化博物館	千葉県立関宿城博物館
M O A 美術館	出光美術館	芦屋市立美術博物館	アーツ前橋
N H K 放送博物館	渋谷区立松濤美術館	宮内庁三の丸尚蔵館	足立区立郷土博物館
あさご芸術の森美術館	湘南江の島 片岡鶴太郎美術館	京都国立近代美術館	大田区立龍子記念館
アサヒビル大山崎山荘美術館	清荒神清澄寺 史料館	群馬県立自然史博物館	大分県立美術館
アトリオンビル	西田美術館	香川県歴史博物館	大分県立歴史博物館
ハラ・ミュージアムアーキ	石橋美術館	高崎市タワー美術館	石川県金沢港大野からくり記念館
ブリヂストン美術館	益田市立雪舟の郷記念館	高松市美術館	石川県立歴史博物館
ミウラト・ヴィレッジ	DIC 川村記念美術館	高鍋町美術館	西宮市大谷記念美術館
星の降る里百年記念館	大三島美術館	国立歴史民族博物館	神奈川県立歴史博物館
滋賀県立安土城考古博物館	大山崎山荘美術館	黒部市美術館	石見銀山世界遺産センター
安野光雄美術館	所沢市立埋蔵文化財調査センター	今治市河野美術館	府中市郷土の森博物館
伊能忠敬記念館	竹久夢二伊香保記念館	山口県立萩美術館	福井市立郷土歴史博物館
台東区立一葉記念館	中近東文化センター	滋賀県立近代美術館	福井市美術館
曳山博物館	中原中也記念館	鹿児島市立美術館	栃木県立美術館
河口湖 UKAI オルゴールの森美術館	中川美術館	新潟市美術館	宇都宮美術館
丸亀市猪熊弥一郎現代美術館	長島美術館	秋田県立美術館	八雲町郷土資料館
岩崎美術館	鍋本清方記念美術館	田川市美術館	八王子市夢美術館
吉田東伍記念博物館	東京ステーションギャラリー	登米市歴史博物館	八幡市立松花堂庭園・美術館
町立久万美術館	東山魁夷せとうち美術館	都城市立美術館	板橋区立美術館
小松市立宮本三郎美術館	東北歴史博物館	島根県立古代出雲歴史博物館	函館市縄文文化交流センター
近世史料館	徳島城博物館	東京国立博物館	日上市立郷土博物館
金沢近代文学館	敦井美術館	国立西洋美術館	萩博物館
金沢市立安江金箔工芸館	二階堂美術館	東京都国立近代美術館	白山市立博物館
金沢湯涌創作の森	日本現代詩歌文学館	東京都写真美術館	平塚市美術館
金沢能楽美術館	日本美術院	東京都美術館	登米市歴史博物館
東東歴史民俗博物館	日本民藝館	米子市美術館	奈良県立美術館
畦地梅太郎記念美術館	白鶴美術館	別府市美術館	国立新美術館
五島美術館	箱根ガラスの森美術館	青森市民美術展示館	北海道立函館美術館
広島平和記念資料館東館	兵庫陶芸美術館	静岡市美術館	苫小牧市美術館
荒神谷博物館	平山郁夫シルクロード美術館	北海道立旭川美術館	上野の森美術館
香月泰男美術館	北村美術館	北海道立文学館	長浜城歴史博物館
香雪美術館	牧口記念館	埼玉県立近代美術館	ベルナル・ピュエ美術館
太田市立高山彦九郎記念館	明治神宮収蔵庫	埼玉県立歴史と民俗の博物館	上原弘教美術館
佐川美術館	弥生美術館	静岡県東海道広重美術館	池田20世紀美術館
佐藤忠良記念子どもアトリエ	立山カルデラ砂防博物館	静岡市美術館	齋藤茂吉記念館
佐藤美術館	立佞武多の館	小坂町総合博物館・郷土館	車屋美術館

(順不同)

5. PS が今後協働して商品開発を行いたい 3 件の協働製作者募集

A



グラフィックを遊ぶラジエータ

実際の製造：
PS が制作
※スイスやフランスの協力会社 or 自社工場で制作
価格帯：アクセスライン
協働をイメージする方：
プロダクトデザイナー・彫刻家・画家・学生 etc.
公募内容：
プラン、イメージ
フィー：

B



歴史と響くラジエータ

日本の文化が培ってきた空間に
気づかないくらい溶け込むラジエータ

実際の製造：
PS が制作・自社工場でオーダーメイド対応
価格帯：機能的アフォダブル
協働をイメージする方：
建築家・工芸家・職人・プロダクトデザイナー・学生 etc.
公募内容：
プラン、デザイン、工法
フィー：
デザインフィー+販売時毎

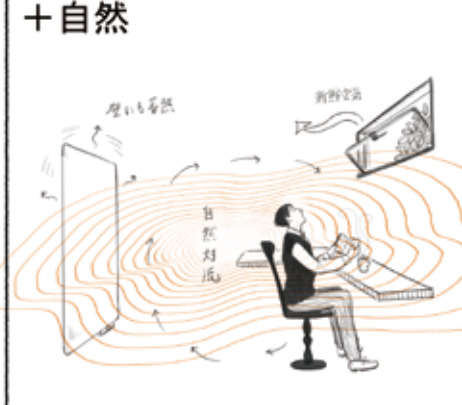
C



衣替えする春夏秋冬ラジエータ

実際の製造：
カバー制作=応募するつくり手
価格帯：
基本ラジエータ本体価格+カバー価格
協働をイメージする方：
染織工芸家・テキスタイルデザイナー・学生 etc.
公募内容：
夏、冬向け どちらかか両方の 作品制作
(空気は通るが視線は通らないもの)
フィー：
作品制作費

+自然



気候とよべるナチュラルな暖かさ。

+さりり



表面で湿ったものを乾かせる。

+ライフセンス



スポット的にあらゆる場所に後付けできる。

PS あなた + 可能性

+生活



チューブに直接物をかけられるカタチ。自由にホックやマグネットと組み合わせられるカタチ。スタイルいろいろ。

+活動空間



表面積が大きいほど、低温運転で広い空間を効率的に暖房できる。

+ART DESIGN



応募方法

2015年11月20日(金) 郵送による応募エントリー受付開始

2015年12月25日(金) 受付終了

※本応募要綱の最終ページにある応募書類2枚にご記入いただき、写真添付のうえ、過去制作された作品がわかる資料と共にご郵送ください。

なお、お送り頂いた書類は返送いたしません。ご了承下さい。

書類送付先 : 一般社団法人ザ・クリエイション・オブ・ジャパン「つくる・ピーエス係」

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-12 壹番館ビル3階 tel.03-3573-3339

公募説明会の申込みについて：付記事項

12月5日(土) 京都国立博物館・つくるフォーラム公募説明会には、21世紀鷹峯フォーラム <http://takagamine.jp> 上に設置された、簡易な内容の「参加申込フォーム」にてご参加いただくことができます。(11時~公募者による概要説明、13時~質疑応答に参加いただけます)

各ブースでの個別打合せは、当日ポートフォリオをお持ちの方に限られます。

どの募集ブースも掛け持ちで打合せ申込も可能です。

打合せの時間につきましては、当日受付で対応致しますので、

お待たせすることがありますこと何卒ご了承ください。

なお、事前にお送り頂いた応募書類につきましては、公募説明会后、締切前に内容を差し替えることは自由です。

第一次書類選考は12月25日締切、1月上旬に開催いたします。

実施スケジュール

時期	内容	詳細
11月20日	説明会参加申込+応募フォーム オープン 受付開始	http://takagamine.jp
12月5日	【公募説明会 at 京博】開催—募集者による内容説明と、個別打合せ	京都国立博物館 平成知新館
12月25日	応募フォーム 郵送締切 受付終了	
1月前半	【第一次書類審査】 応募フォームによる審査 募集窓口となる繋ぎ手、総括アドバイザー川越仁恵氏、 外部審査員を迎え、10人の工芸有識者による選考を行います。	
1月15日	選考後、第二次審査に進む方には、ご連絡いたします	
2月下旬	【第二次審査】 詳細エスキスと参考作品による審査(選考はCOJ+ピーエスつくるチーム)採用者にはご連絡いたします。	
3月~10月	可能な採用プランから製品開発を協働	
12月—1月	21世紀鷹峯フォーラム・東京にて採用作品の制作の流れを紹介。ここでの展示を時限的目標に製作	

ピーエス (PS)

こんなものが室内に欲しかった

応募フォーム

募集内容

応募フォーム・つくるフォーラム

1/2

応募者名 (会社名 / ブランド名 / 担当者名)

ふりがな

連絡先 (〒 / 住所 / 電話番号 / FAX / MAIL / URL)

ふりがな

〒

TEL:

FAX:

URL:

MAIL:

【活動と商品の概要、履歴等ご記入ください】

【これまでの代表作の写真を貼付ください】

写真貼付欄

【応募する製品のエスキスあるいは応募したい実物がある場合はその写真を貼り付けてください】

募集内容 A グラフィックを遊ぶラジエータ に応募 B 歴史と響くラジエータ に応募 C 着せ替えできる春夏秋冬ラジエータ に応募

【応募する製品の概要、コンセプト、仕組み etc. について記載ください】

※応募者が活動履歴が少ない場合の推薦者

※実際の仕事を完遂できると推薦する理由をご記入ください

.....

.....

.....